

公益社団法人 日本臨床腫瘍学会

「プレジジョンメディシンに関する包括的教育プログラム(第2期)」

趣意書(ver.2)

御挨拶

謹啓 時下、貴社におかれましては益々の御隆盛のことと御慶び申し上げます。
また日頃より、貴社には格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年のプレジジョンメディシンの臨床実装に伴い、多くのがん患者がその恩恵を享受できるようになりました。その一方で、プレジジョンメディシンの実践には、適切な患者選択や薬剤の適正使用、副作用マネジメントを実践できる医師や医療従事者の教育がますます重要になっています。日本臨床腫瘍学会(当学会)では、プレジジョンメディシンの診療で中心的な役割を担う腫瘍内科医の教育に取り組んできましたが、腫瘍内科の専門医の育成はまだ十分ではなく、都市部と地域との格差も問題として残っています。また、プレジジョンメディシンを今後さらに普及させるためには、看護師や薬剤師など医療従事者がプレジジョンメディシンの正確な医学知識と実践的な臨床スキルを習得すること、さらに患者やその支援者、一般市民へのプレジジョンメディシンの正しい理解といっそうの啓発が不可欠です。

当学会では、このような現状を踏まえ、2023 年度より、医師・看護師・薬剤師をはじめとする医療従事者、医学生・研修医、さらには患者やその支援者、一般市民を対象として、「プレジジョンメディシンに関する包括的教育プログラム」を 3 か年計画で実施し、皆様にご支援をお願いしてまいりました。

しかしながら、本プログラムには依然として高いニーズがあることが明らかとなり、このたび、さらに3か年の継続を決定いたしました。

つきましては、引き続き本プログラムへのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

本来ならば参上し、拝眉の上お願いすべきことではございますが、本書面を借りてご高配とご援助の程衷心よりお願い申し上げます。なお、本プログラムへのご支援につきましては、各社が公表されることを了承いたします。

末筆ながら、貴社の一層のご発展を祈念いたしております。

謹白

公益社団法人 日本臨床腫瘍学会

理事長 吉野 孝之

教育委員長 馬場 英司



I プログラム概要

- ・プログラムの名称 「プレジジョンメディシンに関する包括的教育プログラム」
- ・代表者 公益社団法人日本臨床腫瘍学会理事長 吉野 孝之(国立がん研究センター東病院)
- ・プロジェクトメンバー 日本臨床腫瘍学会教育委員会

馬場 英司(九州大学大学院)
安藤 雄一(名古屋大学医学部附属病院)
後藤 悌(国立がん研究センター中央病院)
武田 真幸(奈良県立医科大学)
田原 信 (国立がん研究センター東病院)
福原 規子(東北大学病院)
堀之内 秀仁(国立がん研究センター中央病

1. 実施期間

2026年1月1日～2026年12月31日の1年間(以降, 2028年まで実施予定)

2. 本プログラムの目的

当学会のミッションの一つとして、臨床腫瘍学の医療人の教育をあげております。かねてより、教育セミナー、学術集会における教育講演などを通じて精力的に教育的活動を行い、いずれの活動も、貴重な教育の機会として医療界だけでなく社会にも広く認知されてきました。一方、腫瘍内科医の不足は、未だ解決されない課題であり、当学会が認定するがん薬物療法専門医は必要とされる推計3,000名に対して、2025年4月によりやく1,800名を超えたに過ぎません。

さらに、最近のプレジジョンメディシンの臨床実装に伴い、適切な患者選択や薬剤の適正使用、副作用マネジメントには、従来の薬物療法を中心とする臨床腫瘍学に加えて、分子生物学および臨床遺伝学の知識が必要です。このような背景から、当学会では、腫瘍内科医のみならず、プレジジョンメディシンの診療に関わる全ての医療者を対象とした教育プログラム、プレジジョンメディシンの一般社会への普及と啓発を目的とした事業を計画しました。

3. プログラム概要

1) 腫瘍内科医を対象にした教育セミナー

プレジジョンメディシンの診療で中心的な役割を担う腫瘍内科医を主な対象に、プレジジョンメディシンの最新情報についての講義形式の教育セミナーを行う。年2回、ハイブリッドまたはオンラインで開催して、毎回約600名の参加を見込む(事業期間全体で1,800名)。

<参考: 2025年度医師を対象としたセミナーの実施と参加者数>

セミナー名	参加登録者数 (2025年度)	備考(セミナー対象者)
エキパネ道場 (2025年9月13日実施)	436名	ゲノム医療中核拠点病院・拠点病院・ 連携病院の医療従事者を対象
ゲノム医療ことはじめ (2025年11月30日実施)	443名	ゲノム医療中核拠点病院・拠点病院・ 連携病院以外の医療従事者を対象

2) 腫瘍内科医、臓器別内科医・外科医、看護師、薬剤師、その他の医療者を対象にした多職種教育セミナー

①がん免疫療法セミナー

プレジジョンメディシンを診療で担当する医師、看護師や薬剤師など医療従事者を対象に、プレジジョンメディシンの実践的な講義、およびチーム医療の実践スキルの習得を目的にグループワークを行う。年4回、オンラインの開催として、毎回約50名の参加を見込む(同600名)。

<参考:2025年度多職種を対象としたセミナーの実績と参加者数>

セミナー名	参加者数 (2024年度)	備考(セミナー対象者)
第1回ベーシックコース (2025年6月7日実施)	41名	irAEのマネジメントに経験の浅い医療従事者
第1回看護師向けコース (2025年8月30日実施)	50名	irAEのマネジメントの経験を積んだ医療従事者
第2回ベーシックコース (2025年9月28日実施)	36名	irAEのマネジメントの経験を積んだ医療従事者
第1回アドバンスコース (2025年11月16日実施)	36名	irAEのマネジメントに関わる看護師

②老年腫瘍学ワークショップ

医師、看護師や薬剤師など医療従事者を対象に、老年腫瘍学の基礎(ベーシックコース)と実践的な講義(アドバンスコース)を。年2回、オンラインの開催として、ベーシックコースは約50名、アドバンスコースは550名の参加を見込む(同1,800名)。

<参考:2025年度多職種を対象としたセミナーの実績と参加者数>

セミナー名	参加者数 (2024年度)	備考(セミナー対象者)
第1回ベーシックコース (2025年2月9日実施)	69名	i医療従事者
第2回ベーシックコース (2025年11月1日実施)	211名	i医療従事者
第1回アドバンスコース (2025年12月7日実施)	278名	i医療従事者

3) 医学生・研修医を対象にした教育セミナー

腫瘍内科を志す医学生・研修医を対象に、プレジジョンメディシンを含む腫瘍内科一般についての教育セミナーを行う。年1回、1泊2日の合宿形式として、毎回80名の参加を見込む(同240名)。

<参考:医学生・研修医(初期・後期)のための腫瘍内科学セミナー参加者実績>

開催日	参加者数	備考(参加者内訳)
第1回 2018年7月28-29日	88名	医学生35/研修医(初期)38/研修医(後期)15
第2回 2019年3月16-17日	57名	医学生23/研修医(初期)26/研修医(後期)8

第3回	2019年7月27-28日	78名	医学生31／研修医(初期)34／研修医(後期)13
第4回	2023年7月29-30日	51名	医学生18／研修医(初期)24／研修医(後期)9
第5回	2024年7月27-28日	90名	医学生60／研修医(初期)24／研修医(後期)6
第6回	2025年7月26-27日	90名	医学生46／研修医(初期)27／研修医(後期)7

- 4) 患者とその支援者、一般市民を対象にした公開講座
 プレシジョンメディシンをテーマに、患者とその支援者、一般市民を対象にした公開講座を行う。年1回、ハイブリッド形式で、毎回500名の参加を見込む(1,500名)。
- 5) プレシジョンメディシンの啓発を目的にした教育資料の開発とその普及
 プレシジョンメディシンに関する医療者向けの教育資料(診療ガイドラインまたはガイダンス、診療マニュアルなど)、一般向けのパンフレットの作成と配布、本プログラムの概要を紹介するホームページの作成と公開。

4. 助成金・寄附金を必要とする理由

本プログラムは、2028年まで継続したいと考えており、その場合は3年間で延べ約6,000人の医療者または一般市民が教育を受ける見込みです。この人数は、日本のプレシジョンメディシンを適切な形で根付かせるにあたり、十分なインパクトを与えていると考えています。一方、プログラムに要する費用を約198,000,000円/3年間(下表参照)と試算しており、現状では参加者からの会費と当学会の通常予算だけでは、これらの諸経費を賄うことができません。本プログラムを計画どおりに遂行するためには、相当額をご企業からの御賛助に頼らなければなりません。

諸事御多端の折、誠に恐縮に存じますが、今後のプレシジョンメディシンを担う医療者の教育のため、是非ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

5. 事務局連絡先

日本臨床腫瘍学会事務局

事務局長 佐竹 悠良

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-15 芝パークビル 6 階

TEL: 03-6809-1250

FAX: 03-6809-1138

MAIL: jsmo@jsmo.or.jp

II 収支計画書(1年間)

収入の部

費目	
学会事業費より拠出	31,500,000
参加費収入	1,500,000
助成金収入	3,000,000
寄附金収入	30,000,000
【収入合計】	66,000,000

支出の部

会場関係費	
会場費	6,100,000
機材費	3,700,000
小計	9,800,000
運営費	
印刷費	3,500,000
会議費	8,500,000
講師, ファシリテータ謝金	11,000,000
旅費交通費	3,500,000
業務委託費	26,700,000
支払手数料	1,200,000
小計	54,400,000
その他	
予備費	1,800,000
小計	1,800,000
【支出合計】	66,000,000

Ⅲ 助成金・寄附金の募集要項

本プログラムに対する助成金・寄附金は、当学会口座へ直接ご入金お願い致します。

◇主催団体および代表者:公益社団法人日本臨床腫瘍学会
理事長 南 博信
神戸大学大学院医学研究科腫瘍・血液内科教授

◇募金目的:プレジジョンメディシンに関する包括的教育プログラムの運営のため

◇申込先:日本臨床腫瘍学会事務局
事務局長 佐竹 悠良
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-15 芝パークビル 6階
TEL:03-6809-1250

◇振込先:銀行名 三井住友銀行
支店名 浜松町支店
口座種別 普通預金
口座番号 7662440
口座名義 シヤ)ニホンリンシヨウシユヨウガツカイ

<注>ご寄附いただく際は、次頁の申込書を日本臨床腫瘍学会宛にFAX(03-6809-1138)
またはメール添付送信後、お振込みをお願い致します。

日本臨床腫瘍学会事務局 宛
FAX または Mail でご通知ください。
FAX : 03-6809-1138/Mail : jsmo@jsmo.or.jp

助成金申込書

公益社団法人日本臨床腫瘍学会
理事長 吉野 孝之 殿

日本臨床腫瘍学会の「プレジジョンメディシンに関する包括的教育プログラム」の目的、事業に賛同し、その運営資金として、下記の金額を助成します。

令和 年 月 日

法人の場合法人名: _____

代表者: _____

担当者: _____

住所: 〒 _____

電話: _____ FAX: _____ MAIL: _____

記

金額 _____ 円

※コメント欄

(ご支援対象となる事業のご要望等ございましたらこちらにご記載ください)

日本臨床腫瘍学会事務局 宛
FAX または Mail でご通知ください。
FAX: 03-6809-1138/Mail:jsmo@jsmo.or.jp

寄附金申込書

公益社団法人日本臨床腫瘍学会
理事長 吉野 孝之 殿

日本臨床腫瘍学会の「プレジジョンメディシンに関する包括的教育プログラム」の目的、事業に賛同し、その運営資金として、下記の金額を寄附します。

令和 年 月 日

法人の場合法人名: _____

代表者: _____

担当者: _____

住所: 〒 _____

電話: _____ FAX: _____ MAIL: _____

記

金額 _____ 円

※コメント欄

(ご支援対象となる事業のご要望等ございましたらこちらにご記載ください)